

2 関連する次の問いに答えなさい。

(1) ①について、

A 連作障害のおもな原因は何か2つ書きなさい。

B 連作障害が水田ではほとんど見られないのは何故か書きなさい。

(2) ②について、このようなイネ科植物は何と呼ばれているか書きなさい。

(3) ③について、この方法は輪作の効果に加え、さらにどのような効果が期待できるか書きなさい。

III 次の肥料に関する問いに答えなさい。

1 以下の図はトマト栽培における10a当たりの施肥基準を表したものである。

成分	施肥量
窒素	20 kg
リン酸	12 kg
カリ	17 kg

元肥に複合肥料15-15-10(1袋20kg)を使うとして、これを最も少ない成分であるリン酸の分量に合わせて施す場合、10a当たり何袋の複合肥料が必要か計算し書きなさい。

IV 茨城県の農業に関する1~2の問いに答えなさい。

1 次の(1)~(5)は本県の農業の概況を述べたものである。正しいものには○を間違っているものには×を回答欄に書きなさい。

(1) 本県の農業は、わが国の農業の中でも重要な地位を占め、販売農家数は全国第1位となっている。

(2) 本県の令和3年の農業産出額は約4300億円で、北海道に次ぎ全国第2位である。

(3) 耕地面積は県土の約3割を占め全国第3位である。

(4) 総農家数が減少する中で、3ha以上の大規模農家は増加している。

(5) 新規就農者数は平成30年度までは増加傾向にあったが、その後減少している。

2 次の作物のうち、令和3年に本県が全国第1位の産出額となっているものはどれか。3つ選んでその記号を書きなさい。

A スイートコーン B かんしょ C ねぎ D らっかせい E メロン

F はくさい G には H れんこん I こんにゃくいも J そらまめ

V 次の1~4の問いに答えなさい。

1 日本学校農業クラブ連盟の結成を機に創刊された機関紙とは何か。

2 林木を伐採した跡地に次世代の林木を育てることを更新というが、その方法の一つである萌芽更新(ほうがこうしん)とはどういうものか書きなさい。

3 イネの栽培において、水田に直接たねをまいて栽培する直まき栽培の利点を書きなさい。

4 トマトは世界的に非常に広く栽培・利用されている野菜である。わが国のトマト消費量は毎年伸びてはいるが、それでも世界的に見て低い状況にあるのは何故か考察し書きなさい。